

# 編集委員が 行く

## 企業の技術・ノウハウを活かした雇用拡大と キャリアアップ

日本マイクロソフト株式会社、東京都立光明学園（東京都）

横河電機株式会社 箕輪優子



### 取材先データ

#### 日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-16-3 品川グランドセントラルタワー  
TEL 03-4332-5300

#### 東京都立光明学園

〒156-0043 東京都世田谷区松原6-38-27  
TEL 03-3323-8421 FAX 03-3327-8428



### 編集委員から

今回は、自社の雇用拡大・キャリアアップにとどまらず、地域社会で活躍できる人材育成に貢献している「日本マイクロソフト株式会社」の障害者を対象としたプログラム、「IT Learning」をご紹介します。

Keyword：特別支援学校、情報通信業、キャリアアップ、インターンシップ

写真：小山博孝・官野 貴

# POINT

- ① 企業独自のプログラムで障害者の就労の可能性をひろげ、キャリアを拡大する
- ② 特別支援学校にもプログラムを提供し、在校生の“未来”をひろげる
- ③ テクノロジーは、多様な人々の可能性を、最大限に引き出す



日本マイクロソフト株式会社の本社がある、品川グランドセントラルタワー

## 日本マイクロソフト 株式会社での取り組み

今回は、「Empower every person

and every organization on the planet to achieve more. (地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする)」を企業ミッションとするマイクロソフトの日本法人、「日本マイクロソフト株式会社」を訪ねた。

日本マイクロソフトでは「6つのバリュー(図1)」のもと、会社全体の戦略として「ダイバーシティ&インクルージョン」も推進しており、視覚障害、聴覚障害、上肢・下肢障害、内部障害など、異なる障害特性のある社員が在籍し、それぞれの専門分野で活躍している。



人事部C&Bグループのシニアマネージャー、道添未幸さん

はじめに、人事部C&Bグループ(※1)のシニアマネージャー、道添未幸さんに、障害のある方を対象としたプログラム『IT Learning (以下「ITL」)』の取り組みについてお話をうかがった。

『ITL』は、障害のある方の就労の可能性をひろげ、キャリアを拡大することを目的とした2年間のプログラムです。メンバーは日本マイクロソフトの契約社員として採用され、業務として各種の研修に取り組みます。このプログラムでは、マイクロソフト認定プロフェッショナル(MCP)などの資格取得や、高度なITスキル習得とあわせ

図1

### 「6つのバリュー」

#### Integrity and honesty

誠実で正直であること



#### Open and respectful

オープンで相手に敬意を表すこと



#### Big challenges

大きな課題に対しても果敢に挑戦し、最後までやり抜くこと



#### Passion

お客様、パートナー様、技術に対する情熱を持つこと

#### Accountability

自らの言葉とコミットメントに責任を持って何事にも取り組むこと



#### Strive for excellence

卓越性にこだわること



日本マイクロソフト株式会社の資料より

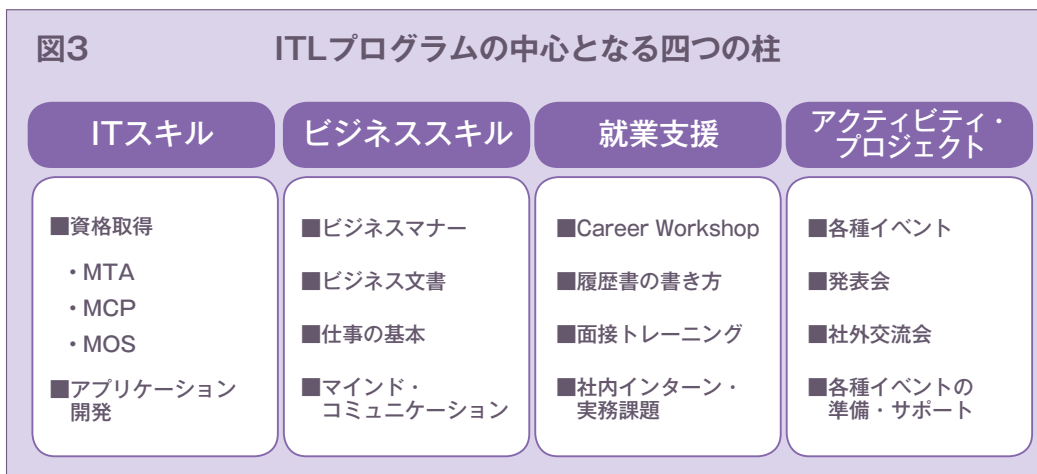
※1 C & Bグループ: Compensation (コンベンセーション) & Benefit (ベネフィット) の略で、業務内容は、報酬・福利厚生・社内規定などの企画立案、実行など

図2 ITL (IT Learning) の目的と目標



日本マイクロソフト株式会社の資料より

図3 ITLプログラムの中心となる四つの柱



日本マイクロソフト株式会社の資料より

て、仕事をするうえで必要なコミュニケーション能力やビジネスマナーなども体得することができず(図2、3)原則として週3〜4日は研修室で講義

を受け、週1〜2日は在宅勤務(オフィス内でも可)で資格取得などに向けた自己研修などを行う。2年目には、日本マイクロソフト社内におけるインターンシッ

プ(社内実習)や、特別支援学校の在校生を対象としたITスキルアップのためのプログラムの企画・運営、職場見学会の対応などをこなす機会もある。「修了者には『ITL』プログラムで得たスキルや経験を活かし、社会に貢献してほしい」と道添さんはいう。

これまでの本プログラム修了者は、日本マイクロソフトやIT業界だけではなく、さまざまな分野で、幅広く活躍している。現在、日本マイクロソフトで活躍している吉村咲紀さん(小腸機能障害)と菊地靖さん(免疫機能障害)にお話をうかがった。

吉村さんは、2015(平成27)年に『ITL』に応募した。当初、プロ

グラム修了後には他社で就職することをイメージしていたが、2年目のインターンで自らアイデアを提案できたことにやりがいを感じるようになった。また、オフィスがとても綺麗で働きやすかったこともあり、引き続き日本マイクロソフトで働きたいという思いが強くなっていったという。努力をし、着実に成長していったことがインターンシップ先の上司からも認められ、2年間のITL修了後、管理本部FP&Aグループ(※2)に配属となった。当初は、財務の知識も経験もないため不安もあったが、上司や経験豊富な先輩のサポートにより、キャッシュマネージメント、税金の支払いなどの職務を担当できるようになっていった。入社4年目の現在は、信頼性と判断力を必要とするアカウント登録なども任せられるまでにキャリアアップした。

「仕事をするうえで大切だと思うことは、効率です。効率的に仕事をするため、常にさまざまな視点で物事を考えるようにしています。閃いたアイデアについて他者とコミュニケーションをとり、自ら積極的に提案をし、周囲に必要とされるように動いています。今後は、国際公認会計士を目指したいです」という吉村さん。優しく穏やかな笑顔のなかに、芯の強さを感じた。

※2 FP & Aグループ: Financial Planning & Analysis (ファイナンシャルプランニング&アナリシス) の略で、業務管理および財務計画の立案、財務データの分析を行う部門





日本マイクロソフト内でのITLの様子



人事本部C&Bグループで、企画・運営を担当する  
菊地靖さん

菊地さんは現在、人事本部C&Bグループに所属し『ITL』の企画・運営を担当している。  
2011年に『ITL』に応募し、入社した。当時は1年間のプログラムで、修了後は別の企業でオフィスサポートの仕事をする3年間担当した。知的障害のある社員の定着支援などにもたずさわり、障害者職業生活相談員、第2号ジョブコー



人事本部C&Bグループ ITLクラスマネージャーの  
三浦真さん



ITLの修了生で入社4年目、管理本部で働く  
吉村咲紀さん

自閉傾向のある人など、多様なタイプの障害のある人のサポートをしていた経験から、一人ひとりに合わせたコミュニケーションの大切さを感じている。現職でも、メンタル面でのサポートをしているメンバーから「菊地さんがいるから楽しい」など、嬉しいフィードバックをもらえることがあり、「縁の下の力持ち」になれていると実感でき、やりがいを感じるといふ。

チ（自社で雇用した障害者を支援する）などの資格も取得した。  
「そのような経験もあったため、『ITL』卒業生の忘年会で、日本マイクロソフトの方から『ITLの』スタッフとして働かないか」と声をかけていただきました」と菊地さん。

現在は『ITL』の募

集、面接、入社や退社の手続き、プログラムの企画・運営、入社した社員用パソコンへのOAインストール、採用後の月次面談など、『ITL』の運営に関するあらゆる職務を担当している。前職で、

## 就職を目ざっている方へ

「伝えたいことがうまく伝わらないこともあるので、休日には障害者雇用に関するセミナーに参加し、サポート力をアップしていきたい」と、和やかで優しい雰囲気の中にも、熱い思いがひしひしと伝わってきた。

吉村さんと菊地さんから、就職を目ざしている方への応援メッセージをいただいた。

「高校生という多感な時期に入退院を繰り返して、障害をもったことで、心を閉ざっていた時期がありました。そのようななか、医者や看護師と接することで、だんだんと外に目を向けられるように変わっていききました。自分とは異なる経験や価値観の方と交流したり、自分で立てた目標に少しずつ近づいていくことで、前向きな気持ちになっていけると思います」と、吉村さん。

菊地さんは、「落ち込んでいても障害の状況はよくなりません。私と同じように、中途障害の方も、障害を含めて現在の自分を受け入れて、前向きにチャレンジしてほしいです。『ITL』は中途障害により、デスクワークにキャリアアップしたい方にとっても最適な場所で、働き方の選択



光学学園統括校長の田村康二朗さん



東京都立光学学園

## 東京都立光学学園での 取り組み

肢が広がるプログラムです。『ITL』修了後の青写真ができている人に、ぜひ応募していただきたいです」と話してくれた。

後日、『ITL』のメンバーが企画・運営をしている、特別支援学校「東京都立光学学園」の在校生を対象とした、ITスキルアップのためのプログラムに同行した。

はじめに、東京都立光学学園の統括校長、田村康二朗さんこうじろうにお話をうかがった。「先生方は日々、生徒たちの成長のために懸命に取り組んでいるが、卒業後の地域社会での生活を生徒たち自身でイメー



光学学園での、日本マイクロソフトITLによる研修会



## プログラム導入の効果

プログラムを担当している情報教育コ

ジでできるような、例えば、民間企業との接点をもつ機会はありません。アプリケーションソフトの機能やパソコンの操作方法を教えてもらうことに加え、働くことで得られる『やりがい』や『自己の成長』、品質や納期などの厳しさなどを知ること、日本マイクロソフトのプログラムに期待をしています」

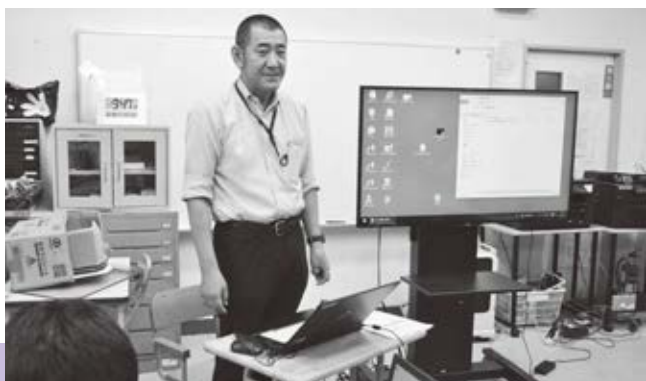
なお、本プログラムは放課後の活動のため、光学学園では、生徒自らの意思と保護者の同意のうえ「補習」に位置づけられている。



光学学園の指導教諭、情報教育コーディネーターの禿嘉人さん

ーディネーターの指導教諭、禿嘉人さんかぢらよしとにお話をうかがった。

「日ごろ、家族や教職員、学校の友達、スクールバスの運転手など、かざられた人間関係のなかで生活している生徒がほ







光明学園中学3年生の高橋翔太さんにインタビューする箕輪編集委員

とんどです。民間企業の方と会話をするだけでも新鮮さを感じるので、生徒たちのよい刺激となり、モチベーションが向上しています。ITスキルについても、情報科の教科書には載っていない操作方法も学ぶことができ、プレゼンテーションにおける効果的なアニメーションの活用、レイアウトなど実務者ならではの観点やノウハウは、教員にとっても勉強になることが多いです。また、障害のある企業人が本プログラムの講師を担当しているため、将来の就労のイメージにつながっているように、『サツカー選手になりたい』という夢を語っていた生徒が、『企業に就職し、事務の仕事をしたい』というなど、現実性のある夢に変化した生徒もいます」という。

プログラムに参加している生徒のなかには、手の動きが固定されているため文字を書くことが困難な者もいるが、「ジョイスティック」や「トラックボール」などを活用しパソコンを操作することで、単独で資料を作成できているという。そのため光明学園では、タブレットなどのIT機器を活用した教科の授業も増えている。例えば、国語の授業では筆記用具を持っていない生徒が、タブレットで絵文字を使って日記を書けるようになり、自己表現することの楽しさを知った。また、紙のページをめくれなかった生徒が、電子教科書を

使うことで自由にページをめくられるようになり、自主性がアップした。そのほか、音楽や美術の授業でも、生徒たちが「自分でできること」を増やすために、さまざまなアプリケーションソフトを活用している。学校生活で効果がでると、家庭でもIT機器を活用しようという意識が高まり、生徒たちの直接的な意思表示にも役立ち、意欲も向上している。

続いて、本プログラムに参加して3年目となる、中学3年生の高橋翔太さんもお話をうかがった。

本プログラムに参加しようと思った理由は「パソコンを使うことが好きだということと、将来は父と同じように貿易会社で勤務したいと思っているからです」ととても丁寧な口調でこたえてくれた。

「グラフのつくり方、むずかしい計算の仕方など、わかりやすく丁寧に教えてくださいるので、その方法がスムーズに頭に入ってきます。以前はスマートフォンを使っていたので、パソコンにはそれほど興味はありませんでしたが、例えば資料作成では、どのような機能を使えばいいのかを考えながら作業をすることで、成長していると感じています。今後は、PowerPoint® を使って資料をつくってみたいですね。光明学園卒業後は、大学に進学をしたいと思います。英語ももっと勉強して、

貿易を通じていろいろな国と交渉をし、外国とよい関係をつくり、世界を平和にしたいです」と、キラキラとした瞳で将来の夢を語ってくれた。

## 最後に

本業を通じて、社会に貢献していくことをミッションとしている民間企業は多い。障害のある人を直接雇用し育成するだけでなく、民間企業のもつ技術、ノウハウ、アイデア、感性、そしてネットワークが、障害のある人の可能性や成長し続けるための機会もひろげ、すべての人にとって、より豊かでより居心地のよい社会をつくっていくのだと思う。今後、日本マイクロソフトのプログラムを通じて、子どもたちの未来がひろがっていくことを期待している。

### 「マイクロソフトのアクセシビリティに関する取り組み」

「見ることに困難のある場合」、「キーボードやマウスを使うことが困難な場合」、「聞くことに困難のある場合」、「発達障害による困難」、「パソコンが使いにくいと感じる世代の方の場合」など、「コンピューターを使うことに困難がある方のために、その方の特性に合わせて困難を支援する技術や製品を紹介する「困難別ガイド」をホームページに掲載しています。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/enable/default.aspx>